

さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

全国で新規陽性者の増加傾向が続いています。厚生労働省の発表では、11月14日に、国内では一日あたりで最大となる1,723名の陽性者が確認されています。また、国内の重症者数は17日の時点で、272名となり、8月中旬より多くなっています。本市では、ここ1週間に、1,133件の検査を実施し、71名の新規陽性者が判明しました。先週に続き、高い水準で推移しています。

ここ1か月の年齢別の新規陽性者数では、重症化しやすい60代以上の方が前半は約10%でしたが、後半は16%を超えています。現在、市内の重症者は2名ですが、今後増加する可能性があり、注意が必要です。

大宮南銀座地域の接待を伴う飲食店の従業員を対象に、10月21日から11月15日まで実施していた、臨時PCR検査では、78店舗、614名に検査を実施し、陽性者は8名でした。積極的疫学調査を進めるとともに、新たにクラスターの発生が確認できた店舗については、店名を公表し、利用客に検査を呼びかけていきます。

7月と今回の広域検査では、無症状や、軽症の陽性者を早期に確認することができ、感染拡大を最小限に抑えられたと考えています。

繰り返しになりますが、全国的に新規陽性者数の増加傾向が続いています。

市民の皆様には、日常生活の中に感染リスクがあることを、改めて意識していただき、マスクの着用と手指消毒や、感染リスクが高まる5つの場面を避け、基本的な感染症対策の徹底をお願いします。